

【精神科研修プログラム】(2年目:必修4週間、選択)

1. 概要. 一般目標(General Instructional Objective: GIO)

精神医学の知識はすべての医師にとって必要不可欠のものである。研修医期間中に精神科・身体科の希望に関係なく医師として最低必要と思われる精神医学の知識や技能を習得し、自ら治療する能力を身につけるか、専門家にコンサルトするためにスクリーニングする能力を身につける。対象となる精神症状は精神科受診患者以外でみられやすいものとする。

臨床医としての基礎を築くのを研修の目的とする。

また選択では必修研修で得た知識や技術をさらに伸ばして精神医学全般に対する専門性を高める。

2. 行動目標(Specific Behavioral Objectives: SBOs)

- ①患者や家族と良好な関係を築き、患者・家族のニーズと心情を理解できる。
- ②医療面接、問診で精神医学的所見を取り、診断と評価のための情報収集ができる。
- ③検査を選択、実行、解釈ができる。
- ④治療方針が立てられる。

3. 経験目標

- ①精神医学的診察法: 病歴の取り方、症状の見方、診断法、面接技術、治療方針など
- ②精神疾患の理解: 内因性精神病、外因性精神病、心因性精神病について
- ③精神症状および病態の理解: 不眠、不安、抑うつ、せん妄、認知症症状、統合失調症様状態など
- ④検査法: CT、MRI、脳波、心理検査など
- ⑤治療法: 薬物療法、精神療法、環境療法(生活療法・精神科リハビリテーション)、無けいれん性電撃療法など
- ⑥精神医学と社会: 地域精神保健活動、精神科医療に係わる法律、医の倫理など
- ⑦特定の医療現場の経験: 予防医療、精神保健医療、緩和終末期医療など
- ③その他: 精神科救急医療、精神科身体合併症医療など

4. L S 方略・指導者

研修期間: 4週間 岐阜南病院

5. EV 評価

- ①研修医の評価: 終了時に評価表に従って自己評価と指導医による評価(3段階)を行う。
- ②指導医評価: 指導医も自己評価と研修医による評価を行う。
研修プログラム・指導体制の評価
 - ①研修医が研修管理員会にて意見要望を述べる。
 - ②EPOC内のプログラム評価記入を検証して、臨床研修管理委員会を通じてフィードバックする。
 - ③年1回の無記名アンケートを行い、各診療科、施設での研修の評価と研修全般に関する意見、要望を収集し、研修管理員会に報告審理し、必要に応じてフィードバックする。
 - ④EPOC、研修医手帳を用いて指導医・指導体制を評価する。

共通項目: 初期研修中のアルバイトは禁止。